

I. ひめじ創生戦略 〔総合戦略〕

1. 姫路市総合計画との統合について

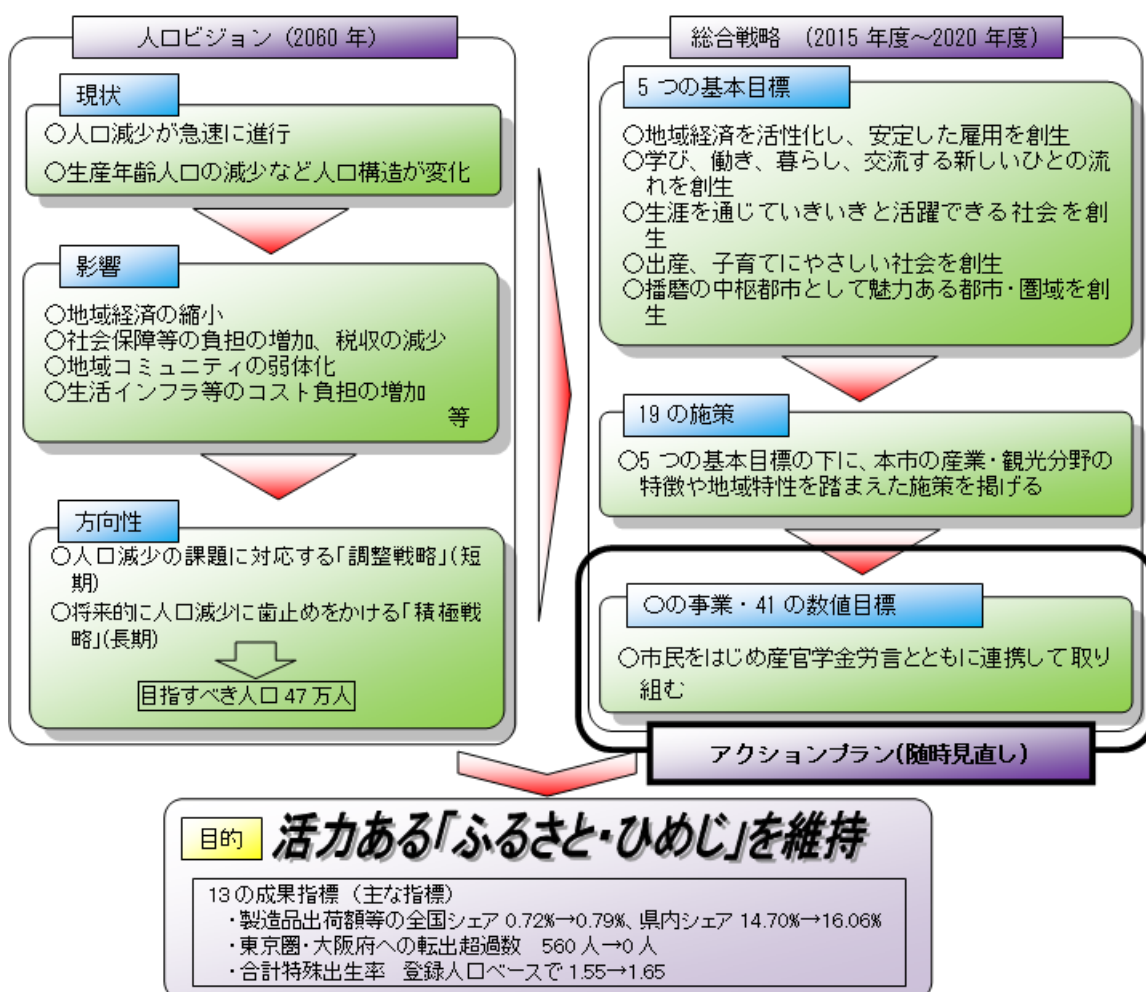
総合戦略は、計画期間を平成 27 年度（2015 年度）～平成 31 年度（2019 年度）と定め、取り組んできたところであるが、姫路市総合計画「ふるさと・ひめじプラン 2020」が、2020 年度末に計画期間が終了し、新たな総合計画を策定することから、総合戦略の期間を 1 年延長し、2021 年度より姫路市総合計画と統合することとする。

〔総合戦略・アクションプランの計画期間〕 2015 年度 ～ 2020 年度

II. ひめじ創生戦略 アクションプラン 2020 年度改定版

1. アクションプラン策定の目的・位置づけ

ひめじ創生戦略では、2060 年というさらに長期的な展望から人口減少の緩和と地域の活性化に取り組むこととしており、具体的な行動計画である〔アクションプラン〕において、人口問題に重点化した〇の新規事業と〇の拡充事業を含む〇の事業を掲げる（再掲を除く）。事業と数値目標については、毎年度の PDCA サイクルによる進行管理の中で、取り組み内容と数値目標の達成状況等をチェックし、バージョンアップしながら戦略を着実に推進する。



2. ひめじ創生に向けた事業展開の考え方

○これまでの振り返り（平成 27 年度～平成 31 年度）

- ・ 1～2 年目は社会増に向けた対策（地域経済の活性化が好循環のスタート）
- ・ 3 年目は自然増に向けた対策（子育て・女性活躍に重点）
- ・ 4～5 年目は若者の定着に向けた対策（若者に重点）

→雇用・総入込客※数は改善しているが、東京を中心とする

大都市圏への転出超過に歯止めが掛かっていない

重要業績評価指標の状況

（H26 → 最新）

○有効求人倍率

1.29 → 1.84

○総入込客数

914 万人 → 987 万人

△合計特殊出生率（住基ベース）

1.55 → 1.55

×出生数（住基ベース）

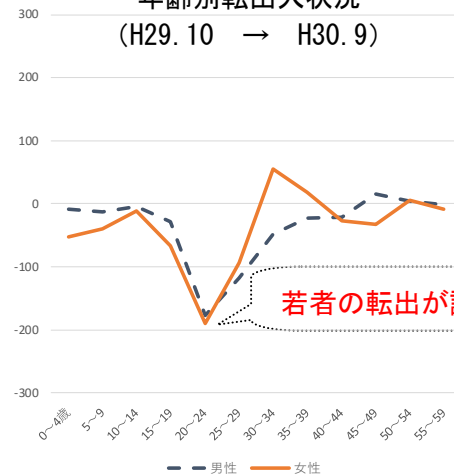
4,724 人 → 4,192 人

×東京圏・大阪府への転出超過数

560 人 → 758 人

年齢別転出入状況

（H29.10 → H30.9）



若者の転出が課題

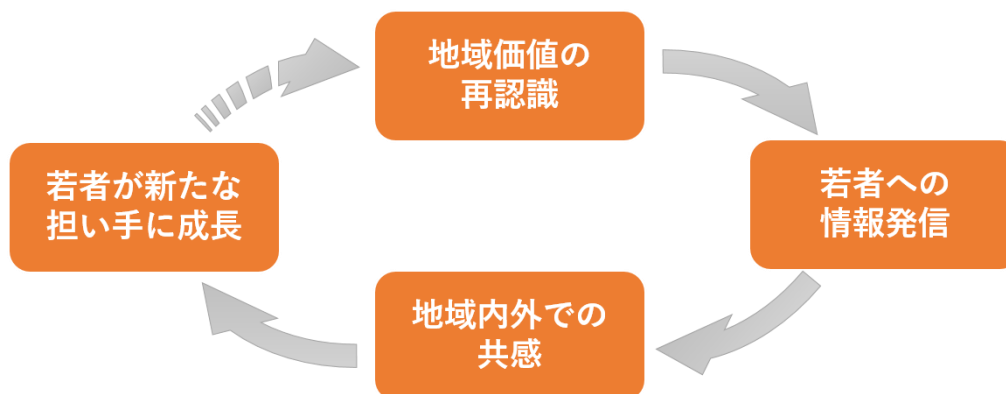
○課題

- ・ **若者（特に女性）に地域の魅力が十分伝わっていない**

○方針

質の高い暮らしができる**播磨**の魅力を**若者**に発信

多様な担い手が播磨の地域資源を磨き、価値を再認識し、情報を発信する
これに共感した受け手が新たな担い手となり、さらに価値を生み出していく



ひめじ創生戦略[人口ビジョン]と[アクションプラン 2020 年度改定版]の全体像

人口ビジョン

中長期展望（2060 年を視野）

定住人口約 47 万人を維持

（合計特殊出生率 2.20 東京圏・大阪府への転出超過数 0 人/年）

基本目標

ひめじ創生戦略の目標（2021 年を視野）

- | | |
|--------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 地域経済を活性化し、 安定した雇用 を創生 | {
〔しごと〕
〔ひと〕
〔まち〕 } |
| 2. 学び、働き、暮らし 、交流する新しいひとの流れを創生 | |
| 3. 生涯を通じて いきいきと活躍 できる社会を創生 | |
| 4. 出産、子育て にやさしい社会を創生 | |
| 5. 播磨の中核都市として 魅力ある都市 ・圏域を創生 | |

※事業名は 2019 年度の事業
2020 年度の事業に更新する

つたえる

★「地域価値」の再認識と発信

- ・ひめじ創生高校生キャラバン
- ・ハイスクールアクションプロジェクト
- ・ひめじ創生カフェ

主な施策・事業

しごと

★「稼ぐ力」が向上するしごとづくり

- ・ものづくりにおけるデザイン活用・ブランディング支援
- ・ものづくり企業等の IT 化の推進
- ・ハープの里山プロジェクト
- ・企業の本社機能の誘致等に向けた取組みの推進
- ・国内外からのコンベンションの誘致

ひと

★「地域価値」を高める担い手づくり

- ・UJI ターン就職の促進
- ・はりまおむすびプロジェクト
- ・小中一貫教育の推進
- ・女性を対象とした就労支援
- ・（仮称）姫路しごと支援センターの運営
- ・幼児教育・保育の負担軽減

まち

★社会情勢の変化に対応し「地域価値」を生み出すまちづくり

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・（仮称）林田チャレンジ農園の整備 ・AI 等の最先端技術を活用した業務効率化の推進 ・マイナンバー制度を活用した窓口サービスの向上 | <ul style="list-style-type: none"> ・生活圏を結ぶネットワークの構築 ・がんばる地域応援事業の実施 ・中核中核都市の機能強化にかかる調査・研究 |
|--|---|

つながる

★産官学金労言・連携市町との連携による取組みの加速化

- ・播磨圏域連携中核都市圏ビジョンの推進
- ・民間企業との連携協定を活用した具体的事業の推進